

- ・心身医学領域慢性疼痛診療連携事業について
- ・施設紹介（田中整形外科・なかつか整形外科リハビリクリニック）

心身医学領域慢性疼痛診療連携事業について

「慢性疼痛には集学的診療が必要」というのがこのモデル事業のそもそもの始まりだ。そして「集学的」は言い換えれば生物心理社会的アプローチのことであり、われわれ心療内科が内科領域において60年以上にわたって実践してきた医療でもある。

とはいえ痛みは心療内科だけで完結するものではなく、多種多様な専門領域が関係する症状である。この連携事業を通してわれわれは、心療内科とその他の診療科との連携強化、慢性疼痛診療における心身医学的な視点の啓発を進めてきた。具体的には、

- ①多施設でのWebカンファレンスの開催、
- ②各種セミナー・研究会の開催、
- ③他病院・診療所との相互患者紹介や併診、
- ④連携医療機関に心療内科のリスト作成などである。

研究会としては今年度で第12回を迎えた「関西痛みの診療研究会」を第8回から本モデル事業の一環として開催しており、当番世話人と協力しながら毎回のプログラム作成や運営に尽力している。また医療と心理との連携をテーマに、心理職が主体となって開催するセミナーも毎年開催している。

慢性疼痛は何らかの精神症状を合併することも多く、そのなかには専門的な評価や薬物療法が必要となるケースも少なくない。心療内科は心理療法を中心として心身の症状にアプローチできるが、精神疾患としての評価や治療については専門外であるため、現在は精神科との連携強化に取り組んでいて、ホームページの連携医療機関リストに少しずつ精神科を載せていく予定である。

関西医科大学附属病院にも2020年に痛みセンターが設立された。病院内の心療内科、ペインクリニック科、リハビリテーション科、整形外科、精神科、歯科口腔外科、健康科学センターが参加しており、今後さらに多くの科に参加を呼びかける予定である。また地域の慢性疼痛診療の拠点となるべく、「ひらかた集学的痛み診療セミナー」を開催して地域の医療機関へ啓発、

連携強化を呼びかけた。今後は引き続き病診連携・病病連携を図るとともに市民公開講座も開催して、地域一体となった慢性疼痛診療のモデルとなるべく活動を進める予定である。

水野 泰行（関西医科大学心療内科学講座）

医療法人社団 田中整形外科



田中整形外科は兵庫県神戸市西区にある無床診療所です。2021年まで有床診療所であったこともあり診療規模として比較的大きめの診療所です。当院には様々な患者さんが来院されますが、なかでも慢性疼痛、スポーツ障害、足（靴）のトラブルに対して特に力を入れています。これらは一般的に治療満足度が低い傾向があり、そのため医療施設を転々とする患者さんが多いという共通点があります。特に慢性疼痛に関しては、近畿地区に慢性痛治療に特化したクリニックが未だ少ないことから孤軍奮闘しているところです。難治性の痛みで悩んでおられる患者さんに対してレントゲンのみならずMRIや血液検査などでRed flagを除外したうえで、内服薬やブロック注射以外に認知行動療法に基づいたリハビリテーションを行なっています。理学療法士は14名在籍しており、心理社会的背景をもつ慢性痛患者さんに対して全職員が適切な対応ができるように教育しています。

田中整形外科には「理念」があります。「理念」とは、企業や団体などがその活動を営むときにその存在意義を踏まえて将来に向けての目標として設定する「ゴール」です。我々、田中整形外科の「理念」は、「すべての人に幸せになってもらう」ことです。そのためには、真の健康を追求することで患者さんとそれに関わるすべての人を癒すことが必要だと考えています。真の健康のためには患者さんのカラダのみならず心の健康を追求することが必要であり、我々は来院する方々に「心」という薬も処方したいと思っています。患者さんを思いやる医療者の「心」も治療のひとつです。そして、「思いやる心」を処方できるのは医師だけではありません。田中整形外科では、すべての職員がこの「思いやる心」を皆様に処方できるように日々努力し続けています。当院は40数年間、「心」という治療薬を地域に処方して参りました。今後もその「心」を皆様に処方し続けていきます。

田中 浩一

当クリニックでは慢性疼痛患者に対する小規模な集学的アプローチを実践するために職員教育に力を入れている。医師・理学療法士は痛みに関連する学会と一緒に参加して発表や聴講を行って慢性疼痛治療の知識を共有している。また、厚生労働省の慢性疼痛診療体制構築モデル事業（近畿地区）開催のセミナーに医師・理学療法士だけでなく看護師・事務員など多職種のスタッフが参加して慢性疼痛患者への対応と一緒に学んでいる。さらに、理学療法士が痛み専門医療者になるために山口大学をはじめとする5大学が中心となって構築した「慢性の痛みに対する教育プログラムの構築」が開設する「慢性痛管理学コース（e・ラーニング）」の入学を全面的に支援している。当クリニックでは理学療法士のみならず看護師・事務員・リハビリ助手など多くのスタッフが傾聴・共感などの慢性疼痛患者に対するコミュニケーション方法を学ぶことによって、慢性疼痛以外の患者においても治療満足度が非常に高まっている。その結果、クリニックの経営・運営に良い影響を及ぼしていることを実感している。

中塚 映政

医療法人青洲会 なかつか整形外科リハビリクリニック

慢性疼痛患者に対しては従来の治療法では十分な効果が得られないことが多く、多分野・多職種が治療にあたる集学的治療が注目されている。当クリニックでは、医師・看護師・事務員・理学療法士・リハビリ助手による小規模な集学的アプローチで慢性疼痛患者の治療を行なっている。

医師は、診断・検査・薬物療法・処置的治療だけでなく、慢性疼痛患者に対しては認知行動療法的アプローチでコミュニケーションを行うとともに痛み専門医として医学的な見地から病状について説明する。看護師・事務員は、病歴聴取やバイタルサインの確認を行い、医師に報告するだけでなく患者のに親身になって寄り添う。特に、理学療法士(常勤10名・非常勤1名)・リハビリ助手(常勤8名・非常勤16名)の役割は非常に大きく、筋骨格系の評価・筋リコンディショニングに加え、慢性疼痛のアセスメントとして日常生活支障度、痛みの情動・認知、痛みの部位・程度について各質問表を用いて評価する。認知行動療法を取り入れた運動療法・運動指導のほか、痛み行動日記のチェック・評価を行う。

いたきんネットのご案内



慢性の痛みでお困りの近畿地区の皆様のための診療情報サイトと動画の公開を開始しました。痛みの「いた」と、近畿地区の「きん」とをって「いたきんネット」----近畿地区の慢性疼痛患者の診療に携わる医師を中心とする診療ネットワーク、慢性の痛みでお困りの皆様を円滑に、専門的な診療につなげるための診療情報サイトです。ぜひご活用ください。

【URL】
<http://itakinnet.html.xdomain.jp>



事務局

〒520-2192
 滋賀県大津市瀬田月輪町
 滋賀医科大学麻酔学講座内

ホームページ
<http://painkinki.html.xdomain.jp/>

